

チームシステム導入編

GLOOBE チームシステムの導入に必要なサーバーをセットアップする方法を解説します。

1. セットアップの前に	2
2. インストール	4
3. データベースシステムを導入	5
4. IISホスト可能なWebコアを有効化.....	7
5. サービスの設置を設定.....	8
6. サービスを開始	10
7. システム管理者を登録.....	11
8. ポート番号を追加	13
9. プロジェクト管理者を登録.....	14

1 セットアップの前に

下記の条件に基づいてサーバーを設置し、必要なソフトウェア等の構成を準備してください。

サーバー

下記要件のサーバーを設置します。

サーバーの設置場所

下記に設置されているサーバー

- ・ 社内のネットワーク（LAN）内
- ・ クラウド

※Azure の仮想マシンのみ動作確認済みです。

※クラウドと外部接続する場合は、SSL/TLS による暗号化通信が必要です。

TCP ポート

サーバーの GLOOBE チームシステムとのデータのやり取りで使用し、最大 2 個の TCP ポートを使用します。

【暗号化なし】

- ①GLOOBE でプロジェクト作業するときにサーバーとデータ通信
- ②ブラウザを使ってサーバーの管理サイトで GLOOBE チームシステムを設定するときの通信

【暗号化あり】

- ①GLOOBE でプロジェクト作業するときにサーバーとデータ通信、ブラウザを使ってサーバーの管理サイトで GLOOBE チームシステムを設定するときの通信
- ②内部管理用

※暗号化通信を行う場合、事前に SSL/TLS サーバー証明書が必要です。運用によっては、自己署名証明書でも構いません。

※サーバー証明書は、下記の証明書ストアに保存しておく必要があります。

保存場所：ローカルコンピュータ

証明書ストア：個人

動作環境

設置サーバーに必要なソフトウェアのシステム構成です。

Windows Server と SQL Server のバージョン

SQL Server/Windows Server	2019	2022	2025
SQL Server 2017	○	○	
SQL Server 2019	○	○	○
SQL Server 2022	○	○	○
SQL Server 2025	○	○	○

※SQL Server は Express エディションも利用可

※導入時に大容量のストレージを割り当ててください。

Windows の機能の有効化

- ・ IIS のホスト可能な Web コア

※Windows Server にある「IIS のホスト可能な Web コア」機能を GLOOBE チームシステム用に有効化します。

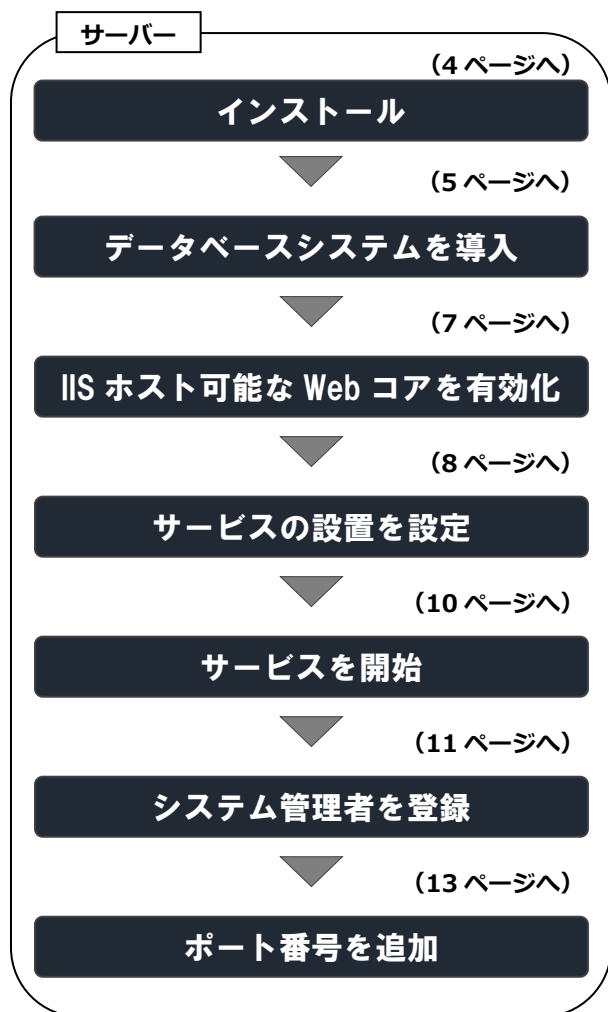
※チームシステムの導入設定で有効化します。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、GLOOBE チームシステム専用に独立したサーバーを構築することを推奨します。他のシステムで構築されているサーバーを共有した場合、システムのデータ破壊等の不具合が生じる可能性があります。それらに対する保証およびサポートは一切できません。

セットアップの流れ

GLOOBE チームシステムのセットアップは、以下のような流れになります。



クライアント※

(14 ページへ)

プロジェクト管理者を登録

プロジェクト管理者を登録したら、「チームシステム編（運用操作マニュアル）」を参照して運用を開始します。

※クライアントは、サーバーと通信できる他のコンピュータです。

GLOOBE がインストールされているコンピュータで行ってください。

バージョンアップの流れ

GLOOBE 2025 チームシステムがインストールされている場合は、次の流れで GLOOBE 2026 チームシステムにバージョンアップできます。

バージョンアップの前に

チームシステムに参加しているメンバー全員のワークスペースに未送信の変更データがないことを確認してからバージョンアップを行ってください。

サーバー

1. GLOOBE を使用しているコンピュータから「GLOOBETeam-Installer.exe」ファイルをコピーします。
2. 「GLOOBETeam-Installer.exe」を実行します。
表示される画面に従って、インストールを進めます。

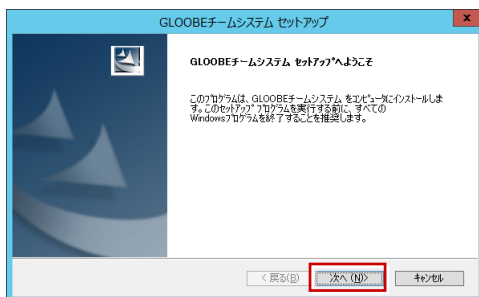
「GLOOBETeam-Installer.exe」ファイル

GLOOBE を利用しているコンピュータで FC アカウントから「GLOOBE Architect」の DVD ファイル全体をダウンロードします。デスクトップにダウンロードしたフォルダーの「TeamSystem」フォルダーにあります。

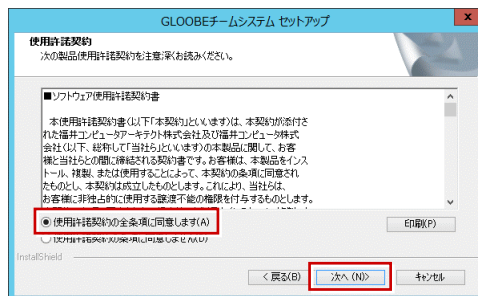
2 インストール

サーバーに GLOOBE チームシステムをインストールします。

1. エクスプローラーで「**セットアップ DVD**」を開き、「TeamSystem」フォルダにある「**GLOOBETeam-Installer.exe**」をサーバーへコピーします。
2. サーバーで「**GLOOBETeam-Installer.exe**」を実行します。
3. GLOOBE チームシステム セットアップへようこそ「**次へ**」をクリックします。

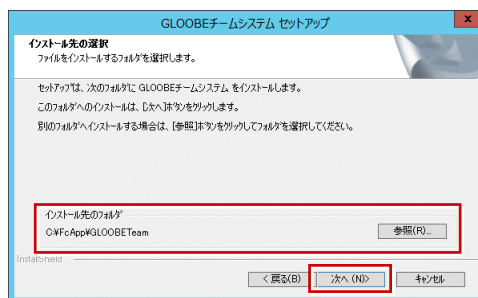


4. 「**使用許諾契約の全条項に同意します**」を選択して次へ進みます。



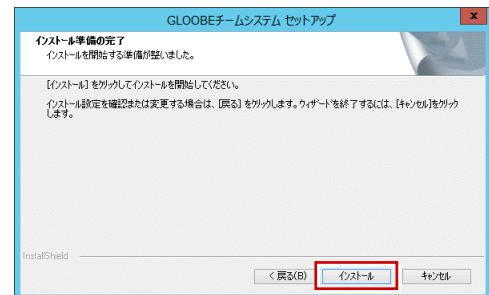
インストールが開始します。

5. プログラムのインストール先を設定して、「**次へ**」をクリックします。

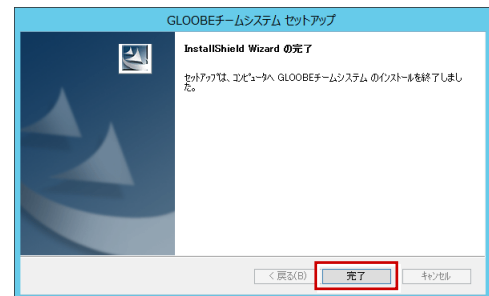


インストールが開始します。

6. 「**インストール**」をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが終了したら、「**完了**」をクリックします。



「GLOOBE チームシステム 導入設定」と「GLOOBE チームシステム 構築ツール」が開くショートカットが作成されます。



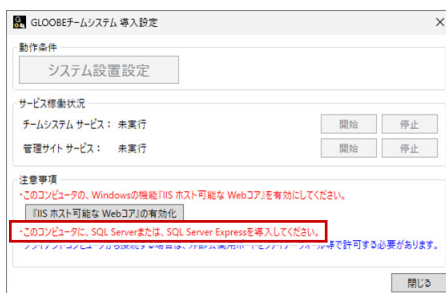
3 データベースシステムを導入

GLOOBE チームシステムのサーバーでデータベースシステムが使えるようにします。

1. インストールで作成されたショートカット「GLOOBE チームシステム 導入設定」をダブルクリックします。



2. 「注意事項」に「このコンピュータに、SQL Server または、SQL Server Express を導入してください。」が表示されていることを確認します。



表示されていたら、SQL Server をインストールする必要があります。

ここでは、次のステップに進んで、インストーラーに含まれている「SQL Server Express」をインストールします。

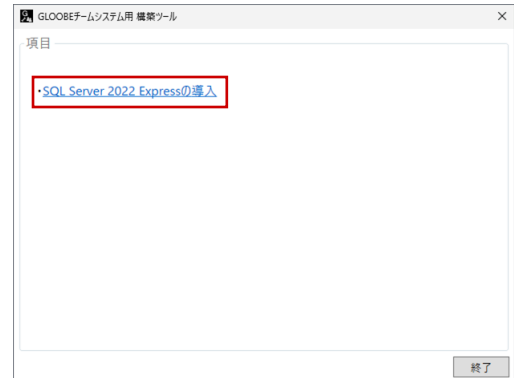
その他の SQL Server を使用する

他のバージョン、およびエディションの SQL Server を使用したい場合は、管理者の判断でインストール、インスタンスの作成をおこなってください。バージョンとエディションによって異なりますので、そちらのセットアップガイドを参照してください。

3. インストールで作成されたショートカット「GLOOBE チームシステム 構築ツール」をダブルクリックします。



4. 「構築・メンテナンスツール」画面が開きます。「SQL Server 2022 Express の導入」をクリックします。



5. しばらくすると下記画面が出ます。「インスタンス名」と「ユーザーDBの格納先フォルダ」を確認します。特に変更がない場合は、「導入条件を設定して次に進む」をクリックします。

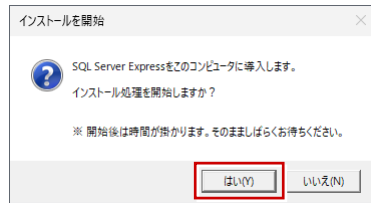


6. SQL Server Express のライセンス条項を確認して「ライセンス条項と次に同意します:」にチェックを付け、「インストールを開始する」をクリックします。

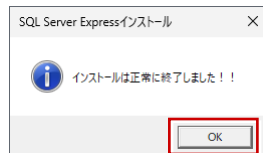


3. データベースシステムを導入

7. 「はい」を選んでインストールを開始します。



8. インストールが正常に終わると、下記画面が出ます。 確認して「OK」をクリックします。



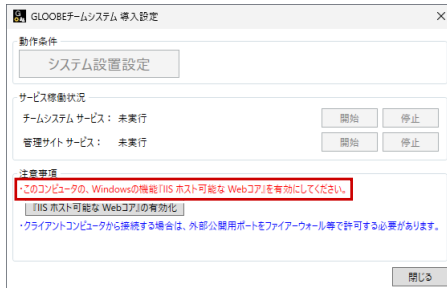
9. 「構築・メンテナンスツール」が下記画面に変わります。 「終了」をクリックして閉じます。



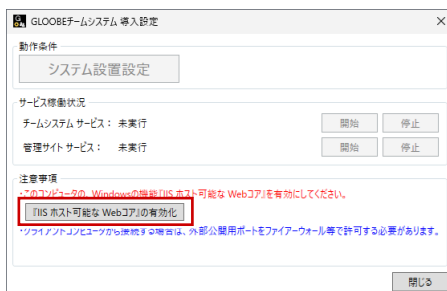
4 IIS ホスト可能な Web コアを有効化

GLOBE チームシステムから Windows Server の機能にある「IIS ホスト可能な Web コア」を利用できるようにします。

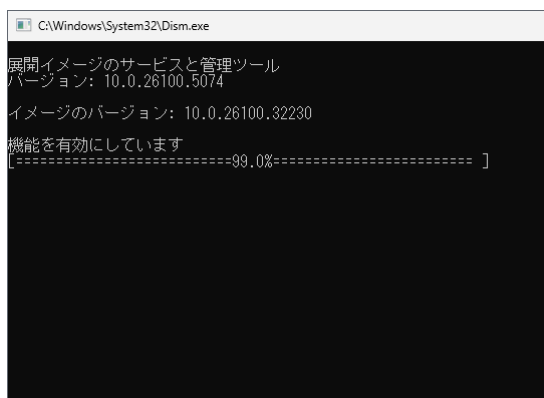
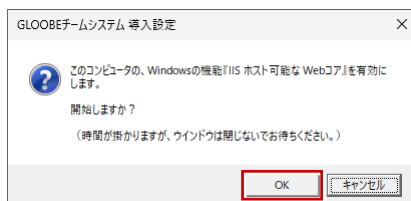
1. 「注意事項」に「このコンピュータの、Windows の機能『IIS ホスト可能な Web コア』を有効にしてください。」が表示されていることを確認します。



2. 「『IIS ホスト可能な Web コア』の有効化」をクリックします。



3. 確認画面のメッセージを確認して「OK」をクリックします。



4. 有効化したら、「注意事項」の「このコンピュータの、Windows の機能『IIS ホスト可能な Web コア』を有効にしてください。」が消えていることを確認します。



5 サービスの設定を設定

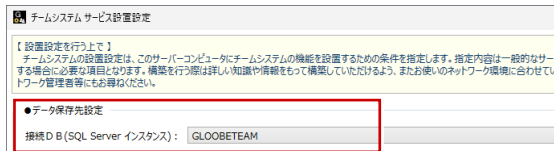
GLOOBE チームシステムの稼働に必要なシステムと管理サイトにアクセスできるように設定します。

1. 「動作条件」の「システム設置設定」をクリックします。



2. 「チームシステム サービス設置設定」ダイアログで各項目を設定します。

チームシステム サービス設置設定



●データ保存先設定

「接続 DB」に「3. データベースシステムを導入」で作成したインスタンスの名称を選択します。

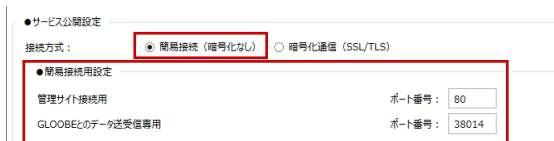
●サービス公開設定

接続方式

クライアントコンピュータからサーバーへの接続を設定します。

使用する接続方式を選択してください。

「簡易接続方式（暗号化なし）」



インターネットから遮断した社内ネットワーク内のサーバーを使用するときに選択します。

クラウド等サーバーが社外にある場合は、この接続方式の使用はおすすめしません。

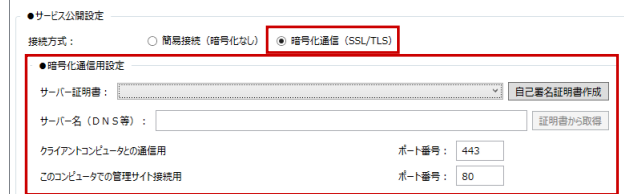
管理サイト接続用

GLOOBE チームシステムから管理サイトのサービスに接続するときのポート番号を設定します。空白の場合、ポート番号は「80」になります。

GLOOBE とのデータ送受信専用

GLOOBE とチームシステムサービスがデータ送受信するときの接続ポート番号を設定します。

「暗号化通信（SSL/TLS）」



社外もしくはクラウド等のサーバーを使用するときに選択します。サーバーの証明書が必要です。

●暗号化通信用設定

サーバー証明書

暗号化通信を行うには、SSL/TLS サーバー証明書が必要です。事前に認証局にて発行してもらってください。

サーバー証明書が発行されたら、サーバーにインストールします。証明書ストアに保存した電子署名書が「サーバー証明書」の一覧に表示されるので、使用するサーバーの証明書を選択します。

自己署名証明書作成

サーバー証明書が発行されるまで、「自己署名証明書作成」をクリックして暗号化通信接続を確認することができます。下記のダイアログが開くので、「サーバー名 (DNS 名)」にサーバーのドメイン名、またはサーバーのコンピュータ名を入力して「作成」をクリックします。



デスクトップに作成された自己署名証明書ファイルを GLOOBE チームシステムを利用するメンバーにファイルを配布して「現在のユーザー」の証明書ストア「信頼されたルート証明機関」にインストールして利用します。

「証明書から取得」をクリックします。
「サーバー名 (DNS 等)」にサーバー証明書から取得したサーバー名がセットされます。
クライアントコンピュータから接続するサーバー名になります。

クライアントコンピュータとの通信用

GLOOBE チームシステムおよび管理サイトのサービスに、SSL/TLS による暗号化で接続するためのポート番号を設定します。空白の場合、ポート番号は「443」になります。

このコンピュータでの管理サイト接続用

このサーバーから管理サイトに暗号化しないで接続するためのポート番号を設定します。空白の場合、未設定になります。

3. 設定したら「OK」をクリックします。

メッセージ画面が表示されたら

「GLOOBE チームシステム サービス設定」の「接続 DB」で選択したデータベースのインスタンスに、サービス稼働時のローカルシステムアカウントからアクセスする権限がない場合に表示されます。「OK」をクリックすると、アクセス権限が追加されます。

「GLOOBE チームシステム 管理サイト設定」の外部公開用の「ポート番号」で指定したポート番号が、すでに別のアプリケーションによって電子証明書が割り当たっている場合、「サーバー証明書」で選択した証明書で置き換えるための確認です。「OK」をクリックした場合、他のサービスに影響を与える可能性があります。置き換えたくない場合は、「キャンセル」をクリックして、別のポート番号を割り当てるなどで対処してください。

有効化した『IIS ホスト可能な Web コア』を使用するにあたり、システムに必要な作業フォルダが見つからなかった場合に表示されます。「OK」をクリックすると、システムフォルダが作成されます。

6 サービスを開始

サービス設定を設定したら、サービスを開始します。GLOBE チームシステムが利用できるようになります。

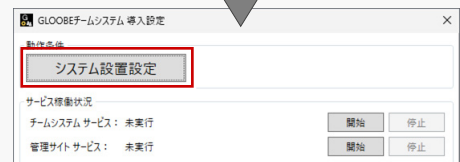
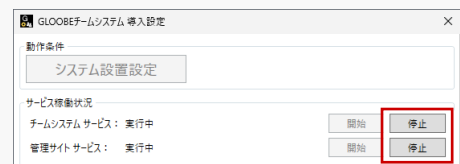
1. 正常に「チームシステム サービス設定」ダイアログが閉じられたら、「サービス稼働状況」の「開始」ボタンがクリック可能になります。
「開始」をクリックします。



サービスの設置を再設定するには

GLOBE チームシステムのサービスが開始されると、「サービス設置設定」の「設定」ができなくなります。

「サービス設置設定」を再設定するには、「停止」をクリックしてサービスを止める必要があります。



7 システム管理者を登録

GLOOBE チームシステムの管理サイトを設定するシステム管理者を登録しましょう。

1. 「GLOOBE チームシステム 導入設定」の「管理サイトを開く」をクリックします。

2. 管理サイトの「新規ユーザーの追加」をクリックします。

3. 登録するシステム管理者のユーザー情報を入力します。

4. 「役割」の「システム管理」をON、「状態」の「ログイン」がONになっていることを確認します。

5. 「登録」をクリックします。

6. 「ホスト管理専用」をクリックします。

7. システム管理者を登録

7. 登録したシステム管理者のログイン ID とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。



ログイン画面のスクリーンショット。ログイン ID とパスワードの入力欄、および「ログイン」ボタンが赤い枠で囲まれています。

初めてログインするので、次の確認画面が表示されます。同じパスワードをもう一度入力します。



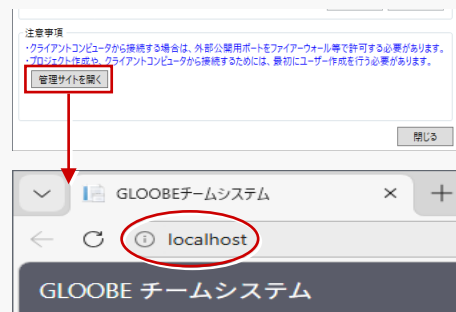
初回ログインのパスワード確認画面のスクリーンショット。パスワードの入力欄と「ログイン」ボタンが赤い枠で囲まれています。

サーバーの管理サイト

サーバーで管理サイト (<http://localhost/>) を開いた場合、ホスト管理専用ユーザーでログインした状態になります。

ただし、権限はシステム管理者と同等の役割ですが、プロジェクトの新規作成は行えません。

別ユーザーのシステム管理者を登録して、別のコンピュータから管理サイトを開き、登録したシステム管理者でログインしてプロジェクトを作成してください。

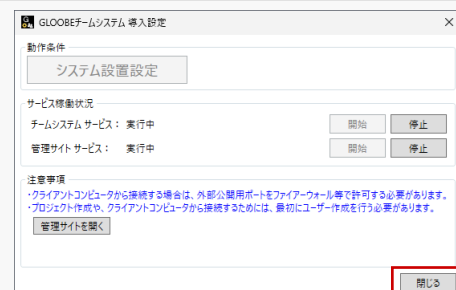


システム管理者を登録したら

管理サイトでシステム管理者を登録できたら、「GLOBE チームシステム 導入設定」の「閉じる」をクリックしましょう。

サーバーからサインアウトしても、GLOBE チームシステムのサービスは常時稼働しています。

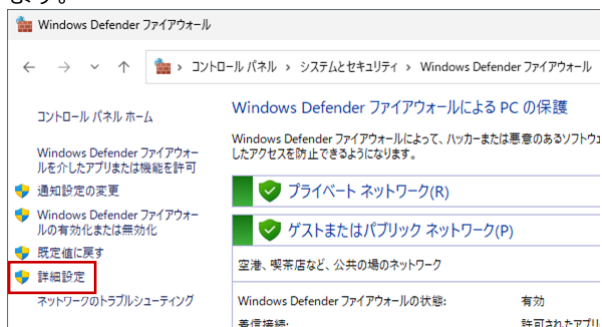
また、サーバーを再起動した場合、GLOBE チームシステムのサービスは自動的に開始されます。



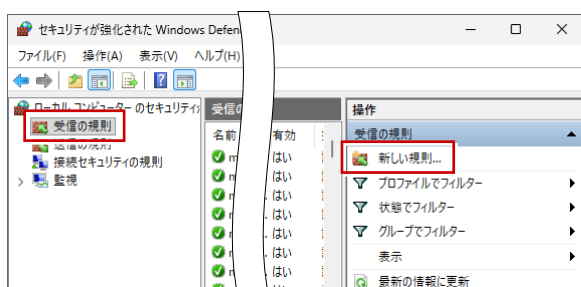
8 ポート番号を追加

ポート番号を追加して他のコンピュータから GLOOBE チームシステムと管理サイトを利用できるようにします。

1. サーバーのコントロールパネル(設定)から「Windows Defender ファイアウォール」の「詳細設定」を開きます。



2. 「受信の規則」から「新しい規則」をクリックします。



3. 「ポート」を選び、「次へ」をクリックします。



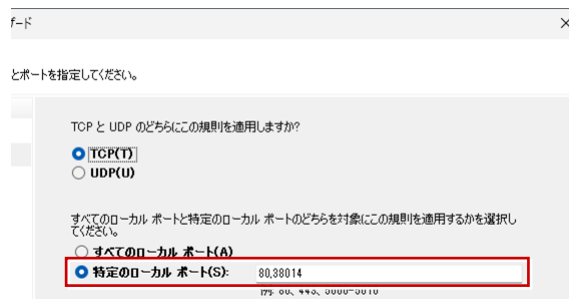
外部にあるサーバーを使用する場合

クラウドなど、社内ネットワーク外にあるサーバーの場合は、下図の赤枠に設定したポート番号のみ受信の規則に追加します。

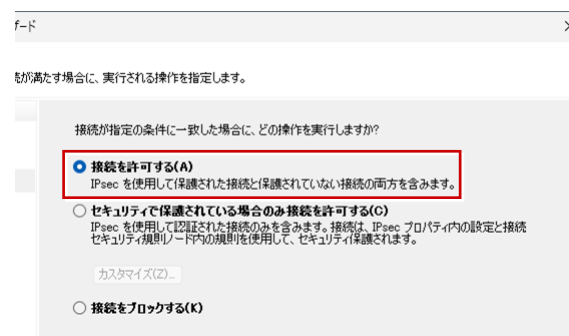
ホスト管理専用指定したポート番号は絶対にファイアウォール経由に通信を許可しないでください。



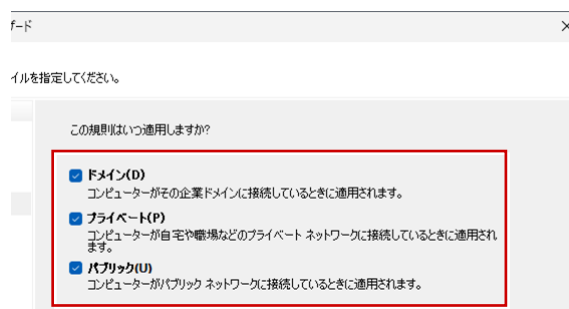
4. 「特定のローカルポート」に管理サイトの外部公開用ポート番号とチームシステムサービス用のポート番号に区切り文字（半角コンマ「,」）を入れて、「次へ」をクリックします。



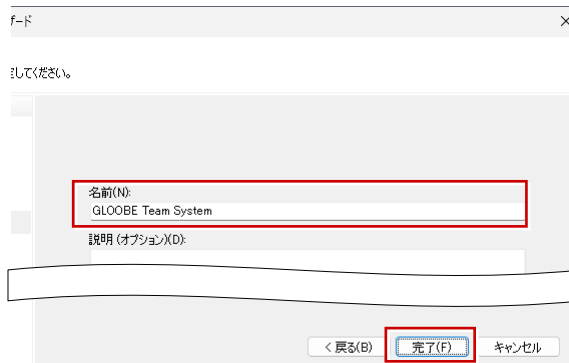
5. 「接続を許可する」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。



6. サーバーを使用するクライアントマシンのネットワークを ON にして、「次へ」をクリックします。



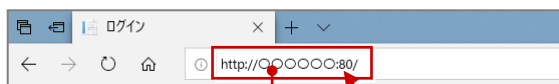
7. 「名前」に、設定したポートを使用するプログラムの名称などを入力して、「完了」をクリックします。



9 プロジェクト管理者を登録

サーバーでシステム管理者を登録したら、別のコンピュータから管理サイトを開き、プロジェクト管理者を登録します。

- 1.** 別のコンピュータでブラウザを開き、サーバーの URL と管理サイト設定用のポート番号を入力します。



GLOOBE チームシステムをインストールしたサーバー名もしくはアドレス

●サービス公開設定

接続方式: ☒ 簡易接続 (暗号化なし) ☐ 暗号化通信 (SSL/TLS)

●簡易接続用設定

管理サイト接続用 ポート番号: 80

GLOOBEとのデータ送受信専用 ポート番号: 38014

※暗号化なしでサーバーに接続するとき、デフォルトのポート番号は「80」です。ポート番号の指定は無くても接続できます。
「80」以外の場合、ポート番号の指定は必須です。

暗号化通信の場合

暗号化通信の場合、「https://○○○○○○○:ポート番号/」を URL に打ち込みます。デフォルトのポート番号は「443」です。「443」以外に設定している場合、URL のポート番号は必須です。

●暗号化通信用設定

サーバー証明書: 自己署名証明書作成

サーバー名 (DNS等): 証明書から取得

クライアントコンピュータとの通信用 ポート番号: 443

- 2.** サーバーで登録したシステム管理者の ID とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。

ログイン

ログイン ID: admin

パスワード: *****

☐ このアカウントを記憶する

ログイン

- 3.** 「新規ユーザーの追加」をクリックします。

GLOOBEチームシステムへようこそ！

GLOOBEのプロジェクトをサーバー上で管理し、各クライアントで共有可能なサービスを提供します。

プロジェクト管理

プロジェクトの一覧表示 >

新規プロジェクトの追加 >

編集権限テンプレートのメンテナンス >

ユーザー管理

登録ユーザーの一覧表示 >

新規ユーザーの追加 >

ユーザーの一括追加 >

- 4.** 登録するプロジェクト管理者のユーザー情報を入力します。

ユーザーの追加

ユーザー情報

ログイン ID: user01

名前: ○○○○

所属 1:

所属 2:

所属 3:

備考: ○○○プロジェクト管理

役割

状態

ログイン

GLOOBEチームシステムにログインするときの ID になります。

- 5.** 役割を設定します。
ここでは、「プロジェクト管理」と「ユーザー管理」を ON にします。

プロジェクトメンバーの ID を登録するには、ユーザー管理の役割が必要です。

役割

システム管理 ☐ 対象

プロジェクト管理 ☒ 対象

ユーザー管理 ☒ 対象

- 6.** 「登録」をクリックします。

所属 1:

所属 2:

所属 3:

備考: ○○○プロジェクト管理

状態

ログイン

登録